◎ツリーウオッチング　（5月～10月の第3水曜日　平岡公園第1駐車場 10 時集合）

平岡公園の魅力は梅園だけではありません。園内の森や林には幾筋も散策路があって、豊富な種類の樹木や植物を見ることができます。『平岡公園ツリーウオッチング』は、樹木の観察を中心に公園の四季の移り変わりを楽しむ、大人のための観察会です。

ゆうさんの解説は分かりやすい

ホウノキの花が咲きました（６月）

オニノヤガラが今年は多い

<u>10月19日（水）ツリーウオッチング（参加者のレポート）</u>

10月のツリーウオッチングは、すっかり秋景色に変わっていました。木の実と紅葉が目立ちます。ゆうさんの軽快な先導にて歩き、目に入ったのは***ヤマゴボウ***です。紫色の山ブドウのような房に濃い紅色の軸が鮮やかでした。そして目線を上げた先には見事に赤い実が木にびっしりと付いていました。***アズキナシ***と教わり、青空を背景に美しく映えている木の実に感嘆。さらに***モミジ***や***アオダモ***の紅葉など目を見張るものばかりです。5月に見た***アオダモ***は白い花が咲き誇り、6月には赤い種をたくさん付けていました。来る度に色々な変化を楽しみ、自然の恩恵を受けて心地よい半日になりました。

◎水辺の生きものたちは、今･･･　サンちゃん池周辺に伐採工事入る

酪農学園大の調査の様子‘17年

伐採後‘22 年　10 月（右端が池）

清田区里塚の通称「サンちゃん池」には、毎年春にはエゾサンショウウオの卵がたくさん見つかり、孵化した幼生が泳ぐ姿も見られます。周辺の樹林に生息するエゾサンショウウオの貴重な産卵場所になっているこの池は、住宅地に隣接していますが、道路と崖に挟まれて開発を免れてきました。しかし、周囲の樹木が大きく成長し、道路や隣接する住宅地に倒れる危険があるので伐採工事をすると、所有者から連絡がありました。この池と周辺の生き物の保全を願う私たちは、樹木の伐採は必要最小限にして池自体には手を付けず、エゾサンショウウオへの影響を最小限にとどめて欲しいとお願いしました。伐採は9月中に終わり、池周囲の環境は大きく変わりました。今後のエゾサンショウウオの産卵･生息状況を注意深く見守っていく必要があります。私有地内の貴重な自然環境の保全はどうあるべきか、市民も行政も一緒に考えていく必要があると改めて感じました。

◎モニタリングサイト 1000里地調査

環境省と日本自然保護協会の共同プロジェクト「モニタリングサイト 1000 里地調査」は、毎年同じ時期・同じ場所で定点観察を続けることで自然環境の変化を記録するものです。『平岡どんぐりの森』は、2008 年からこのプロジェクトに参加してカエル類（平岡公園）と鳥類（東部緑地）の調査を続けています。

●エゾアカガエル　調査日　'21 年 3/24　4/9　'22 年 4/13　4/16

*エゾアカガエル*は年１回の産卵期に、産卵可能なサイズの全てのメスが１匹あたり１つの卵塊を産卵します。卵塊の数を数えることで、その地域に生息するカエルの個体数を把握できます。

2021 年は3月中旬頃より産卵が始まりました。コロナ感染拡大防止のため、公園内での観察会は中止となり、3/24 は E 地区のみ、梅の香橋から視認で卵塊を確認。4/9 は全調査地区を調査しました。

★2021年調査結果（卵塊数）

梅の香橋エリア ： 100　上流湿地 ： 21　はらっぱエリア ： 15
はらっぱエリア奥 ： 110　人工湿地 ： 50　トドマツ横の小池 ： 0
総数 296

2022 年は 2 月から 3 月上旬にかけて災害並みの大雪になり、予想以上の積雪量があり、調査は例年より 10 日遅れましたが、3 月下旬頃より気温が上がり、雪解けは急ピッチで進みました。カエルの卵塊数は全体的に増加傾向で、特にはらっぱ奥エリア周辺の水路でカエルの卵塊が多数確認できました。4 月の春の観察会ではカエルの大合唱が聞こえました。

★2022年調査結果（卵塊数）

梅の香橋エリア :120　上流湿地 :10　はらっぱエリア　:11　はらっぱエリア奥 :160　人工湿地 :125
トドマツ横の小池 ： 0　　総数 426

◎鳥類　　調査日（越冬期）' 22 年 1/26　2/9　2/16　（繁殖期）' 22 年　6/8　6/22　7/6

東部緑地の大曲川沿いの遊歩道約1㎞を歩き、半径 50m以内で確認された鳥類の種名・個体数を記録します。

（越冬期）2022 年の冬は暴風雪や記録的な大雪のため、予定通りの調査はできませんでした。積雪が多くスノーシューを履いてラッセルしながらの調査は大変でしたが、運動不足解消になりました。

（繁殖期）新緑が美しい季節になり、*ウグイス*や*キビタキ*のさえずりが響きます。*シジュウカラ*、*ハシブトガラ*、*ヤマガラ*、*アオジ*、*ヒヨドリ*、*センダイムシクイ*、*キビタキ*、*アカゲラ*、*コゲラ*を視認、上空には*ノスリ*や*アオサギ*。遠くで*カッコウ*や*キジバト*の声が聞こえました。

6/22 には幼鳥を多数視認しました。*シマエナガ*、*アオジ*、*センダイムシクイ*、*ハシブトガラ*、*ヤマガラ*など幼鳥の声がとても賑やかです。近くの藪の中から*ヤブサメ*の虫のような鳴声はしますが、なかなか姿は確認できません。7月には葉が生い茂り、声はしますが姿を見つけるのが大変です。*シジュウカラ*、*ハシブトガラ*、*ヤマガラ*など、カラ類に交じって*メジロ*を視認。上空には*オオセグロカモメ*や*アオサギ*が飛び、*アオバト*の声も響きました。

発行　**平岡どんぐりの森**

〒004－0033　札幌市厚別区上野幌 3 条 5 丁目12－8
TEL・Fax　011-896-0058　　代表　荒井美和子

ホームページ　http://dongurinomori.web.fc2.com/